



今月新しく 入りました。

※ 12月の新刊は、1日（火）からの貸出となります。

一般の本

- ・えにし屋春秋（著＝あさのあつこ）
- ・灯台からの響き（著＝宮本 輝）
- ・世界でいちばん素敵な 大和言葉の教室
（監修＝吉田 裕子）

子どもの本

- ・あなたがいてくれたから（文＝コビ・ヤマダ）
- ・どこどこかわいい（作＝たなか しん）
- ・しろくまきょうだいのセイウチまつり
（作＝庄野 ナホコ）

中でもこの本が オススメです。

タクジョ！

著＝小野寺史宜

様々なお客さんを乗せてはしる、タクシー女子のお仕事小説！
東京都江東区に暮らし、区内の営業所に配属された新卒のタクシードライバー・高間夏子（23歳）。女性比率は3パーセント不足という男社会で、個性あふれる先輩や同期たち、そして家族に励まされながら、全力で走り回ります。



これが ぼくらに ぴったり！

作＝アン・ローズ

靴ひもが切れてしまったので新しい靴ひもを買ったロンソンさん。けれど、歩き出すと新しい靴ひもなのに靴がおんぼろなのが気になって・・・？
どんどん物を買ったロンソンさんが最後にみつけた「ぴったり!!」なくらしとは？？



子どものお話の会お休みのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により

12月の子どものお話の会はお休みします



90歳セツの
新聞ちぎり絵
著＝木村セツ

だんなさんを亡くしたことをきっかけに新聞ちぎり絵を始めたセツさん。この本は、セツさんが作った作品にひとこと添えた作品集となっています。新聞ちぎり絵を始めたばかりとは思えないような、素晴らしい作品たち。

セツさんの言葉と共に、色鮮やかで温かい作品を見ていると、なんだかホッとします。最後の方には、セツさんが新聞ちぎり絵を作るときに使う道具や、作り方も載っているの、興味を持って人はぜひ読んでみてください。



オルセー美術館で
さがせ!
作＝ニコラス・ピコ

フランスの国立美術館、オルセー美術館。多くの美術品が飾られたこの美術館の人気者、シロクマの彫刻「ポンポン」が他のアート作品の中に隠れてしまいました!! 「ポンポン」は体の色や絵のタッチを他の作品にあわせて変えることで、上手に隠

れています。皆さんは「ポンポン」を見つけることが出来るでしょうか・・・？
作品をじっくりと見ながら、「ポンポン」を探すことで美術品を見る目も鍛えられる？かもしれない、オルセー美術館公式の「さがせ!!」絵本です。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。
新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。
広がる本だ。広がる本だ。広がる本だ。
毎月おすすめの本を2冊紹介します。
今月の紹介者は飯干愛理さん（司書）です。

広がる本だ



高齢の家族を自宅で介護・看護していきたいと考えていますが、自分たちだけでは不安です。(59歳・女性)

「地域包括ケアシステム」をご存知ですか？

皆さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、地域内で助け合い・住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できるシステムを「地域包括ケアシステム」と言います。

このシステムを実現するためには、介護職員や医療関係者をはじめとした多くの職種の人たちが連携する必要があります。その仲介役として地域包括支援センターやケアマネージャーが重要な役割を果たします。

中でも、このシステムの中で、訪問看護事業所は医療と介護を

繋ぐ役割を担います。

訪問看護とは？

訪問看護とは、看護師などの医療の専門職がご自宅を訪問して、その人の状態に応じた看護を行うことです。健康状態の悪化防止や、回復に向けてのお手伝いをします。

また、主治医の指示を受け、病院で行う医療処置を行うこともあります。

自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。

どのような人が訪問看護を受けることができますか？

子どもから高齢者、病状や障がい

すべての人が受けることができます。

訪問に関しては、介護保険、医療保険をご利用いただけます。

1回あたりの時間や回数を教えてください

1回あたりの時間や回数については、病状によって個人差があります。利用者の人が住み慣れた我が家で、日常生活と療養生活の折り合いを見つけないが、その人らしく過ごせるように、利用者や家族と時間を決めます。回数についても、主治医やケアマネージャーなど多くの職種の人たちと連携をとりながら調整を図っていきます。

どのようにしたら訪問看護を受けることができますか？

受診している医療機関の主治医、地域包括支援センター、ケアマネージャー、お近くの訪問看護事業所などにご相談ください。



訪問看護とは、看護師などの医療の専門職がご自宅を訪問して、その方の状態に応じた看護を行うことです。健康状態の悪化防止や、回復に向けてのお手伝いをします。



「アドバイザー」

大村恵子・おおむらけいこ・平成7年博多学園博多高等学校衛生看護専攻科卒業。平成20年4月鞍手町立病院勤務。令和2年4月より、くらて病院訪問看護ステーション管理者。